

令和7年度 2学期終業式あいさつ

令和7年12月24日

2学期もいよいよ今日で最後の日となりました。暑さが厳しかった8月28日から数えて今日で80日目です。大きな事故がなく、みなさんが元気に生活できたことを、まず喜びたいと思います。

2学期は、運動会、芋煮会、源次兵衛さん活動のゴミ拾いや花植え、学習発表会、6年生朝日町合同修学旅行、1年生～4年生それぞれの学年での朝日町合同学習、いろいろな行事がありましたね。みなさん一人一人、本当によくがんばりました。



さて、今年令和7年の、私たちのテーマは「挑戦」でしたね。「挑戦」とは、うまくいくかどうかわからなくても、勇気を出してやってみることです。

ここで、みなさんに一つ聞きたいことがあります。新しいことに挑戦したとき、一回でうまくいったことは、どれくらいありますか？ 例えば――

- ・なわとびを初めて跳んだとき
- ・初めて、英語で自己紹介を習ったとき
- ・初めてスキーを履いたとき
- ・...

みなさんは、スキーを初めてはいたときのことを覚えていますか。最初から上手に滑れた人は、ほとんどいません。立とうとしても、すぐに転ぶ。前に進もうとしても、思うようにいかない。坂を登れない。止まりたくても、すぐに止まれない。何度も雪の上にひっくり返った人もいるでしょう。そのときの転んだ経験は、失敗だったでしょうか。

いいえ。 その一回一回の転びがあったから、「こうやって立てばいいんだ」「こうやってスピードをコントロールすればいいんだ」と、体が覚えていきます。スキーは、転びながら上手になります。 転んだから失敗ではないのです。

これは、学校生活の「挑戦」も同じです。勉強でまちがえたこと。発表でうまく話せなかつたこと。行事で思うようにできなかつたこと。それは、失敗ではありません。成功にたどり着くための、大切な雪道なのです。

もし、転ぶのがいやでスキーをしなかつたら、いつまでも滑れるようにならないでしょう。でも、転んでも立ち上がって、もう一度滑る人は、少しずつ前に進みます。挑戦しての失敗は、失敗ではありません。成功に近づいている証拠です。これを前進といいます。

もし失敗がなかつたら、できるようにはなりません。2学期のみなさんの中にも、「うまくいかなかつたな」「くやしかつたな」という挑戦があつたと思います。でもそれは、成功に向かって進んでいるしるしです。何もしなかつた人は、失敗もしません。でも、成長もしません。挑戦して、失敗して、もう一度やってみる。このくり返しが、みなさんを大きくしていきます。前進するのです。挑戦しての失敗は、失敗ではありません。成功に近づいている証拠です。

さて、これから年末年始休みに入ります。お正月を迎える前後は、家ではいろいろな仕事がありますね。雪かき、掃除、料理の準備、後かたづけ。みなさんには、ぜひおうちのお手伝いにも挑戦してほしいと思います。

最初は、うまくできないこともあるでしょう。時間がかかつたり、注意されたりすることもあるかもしれません。でも、それもスキーと同じです。一度でできなくてもいい。続けることが大切です。お手伝いは、家族の一員としての大切な役割です。そして、がんばる姿は、きっとおうちの人々に伝わります。「ありがとう」と家族に言われるその一言が、みなさんの次の挑戦の力になります。

この冬休み、挑戦して、うまくいかな
くてもあきらめず、また挑戦することを
大事にしてください。3学期、少し成長
した、たくましいみなさんと会えること
を、私はとても楽しみにしています。

